



2022年1月19日

各 位

会社名 J F E コンテナ株式会社
代表者 代表取締役社長 那須 七信
(コード番号：5907 東証第二部)
問合せ先 企画部長 清水 晋
(TEL. 03-5281-8514)

業績予想の修正に関するお知らせ

本日開示いたしました“連結子会社の解散に関するお知らせ”に基づき、2022年3月期において特別損失の計上を予定しております。併せて最新の業績動向を踏まえて2021年10月28日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想を修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 業績予想の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,000	1,500	1,600	1,200	419.12
今回修正予想 (B)	35,500	1,800	2,000	900	314.34
増減額 (B-A)	500	300	400	△300	—
増減率 (%)	1.4	20.0	25.0	△25.0	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	27,428	2,202	2,437	1,831	639.53

※当社は2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。それに伴い、2021年3月期の実績につきましては、新たな会計方針を適用した数字を記載しております。

(2) 修正の理由

昨年末よりドラム缶の主要な材料である鋼材の価格が、需給の逼迫により近年例のないレベルまで高騰しております。当社としてはお客様に丁寧にご説明してこれを販売価格に転嫁させていただくことに取り組んで参りましたが、販売価格への反映実現までの時間差による収益悪化は避けられないものと認識し、2021年7月28日に営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前年度実績を大きく下回る予想を開示いたしました。

その後、コロナ禍からの経済回復を受けてドラム缶需要が予想以上に堅調に推移したこともあり 2021 年 10 月 28 日には業績予想を上方修正いたしました。

今回、鋼材価格高騰の販売価格への転嫁についてお客様に概ねご理解をいただくことにより一定程度の実現ができる見通しとなり、従来から取り組んできた品種構成改善やコストダウンも成果をあげてきたことから、これらを踏まえてこの度、業績予想を売上高、営業利益、経常利益について再度修正いたします。また、本日“連結子会社の解散に関するお知らせ”を開示いたしましたが、この措置により当社は 2022 年 3 月期において一部算定中ですが杰富意金属容器（上海）有限公司の固定資産の減損及び従業員に対する経済補償金等を特別損失として計上する予定で、これに伴い親会社株主に帰属する当期純利益について業績予想を下方修正いたします。

※上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。今後、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに公表いたします。

以上